



神内っ子

笠岡市立神内小学校 学校だより

令和3年7月13日 No.10

【笠岡東中学校区小中一貫教育 教育目標】
郷土を愛し、夢の実現に向けて高め合い、
たくましく生きる児童・生徒の育成

- ・進んで学ぶ子
- ・思いやりのある子
- ・元気な子



総合的な学習の時間 ～6年生総合的な学習の時間～



6年生は、『神島の歴史～地域の伝統や文化を受け継ごう～』をテーマに学習を進めています。6月には、神島史料館に行って、史料を読んで調べたり、公民館長さんから神島の歴史についてお話を聞いたりしました。子どもたちは、史料館を訪問したことはありましたが、目的を持って史料を見てみると、新たな発見がたくさんありました。

調べてきた内容を分担し、まず個人で Chromebook にスライドにまとめ、それを合わせてグループでプレゼン資料を作成していきました。神島という地名が、神武天皇の時代の古事記に由来する話は興味深かったです。これからどんな活動を展開していくか楽しみです。

デジタル教科書 ～6年生社会科～

今年度は、笠岡市内の小中学校で、デジタル教科書の試行を始めています。

本校では、6年生の社会科でデジタル教科書を使用しています。これまでは、教員の PC にインストールされたデジタル教科書を大型 TV に映して授業で活用することがほとんどでした。今年度は5, 6年生の社会科だけですが、それぞれの Chromebook を用いて、児童がデジタル教科書を活用できるようになりました。

この日の6年生の授業は、弥生時代の稲作について学習をしていました。弥生時代の稲作の様子が描かれた画面を見て、現在の稲作と異なる点を画面上に○印をつけていき、その後グループ内で確認しました。クラス全体に発表するときには、個人の Chromebook で、ジャムボードというソフトの画面にマークを入れると、瞬時に大型 TV に反映されるので、「あっ、自分と同じ!」と声上がり、次々とみんなで確認しながらまとめをしていくことができました。



デジタル教科書は、紙の教科書と同じ内容が記述されていますが、資料の詳しい説明も載っているので、使い次第で紙の教科書以上の学習効果が得られます。

教育のデジタル化が進んでいますが、紙のよさとデジタルのよさを生かして進めていきたいと思えます。それにしても子どもたちは、4月から比べると、驚くほどの情報スキルを身に付けています。



おおきなかぶ ～1年生国語科～



書写も含めて1年生の国語の時間は週に8時間あります。

7月9日には、「おおきなかぶ」の劇の発表をしました。台詞をしっかり言って、ナレーター、おじいさん、おばあさん、孫、犬、猫、ネズミのそれぞれの役をしっかり演じました。

書写の時間には、これまでひらがなを1文字1文字練習してきて、先日47文字すべての学習を完了しました。これでいろんな言葉や文章が書けるようになります。基礎の基礎であるひらがなをしっかり練習して身に付けてほしいと思えます。